

大会長：高橋 良輔 京都大学大学院医学研究科臨床神経学(脳神経内科) 副大会長：山田 正仁 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科脳老化・神経病態学(脳神経内科学)  
2021年5月19日(水) ▶ 22日(土) 会場：国立京都国際会館

## 第62回日本神経学会学術大会 終了の御礼

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

此の度は、京都で開催しました第62回日本神経学会学術大会にご参加いただき、誠に有難うございました。緊急事態宣言下でしかも大会2日目の夜には大雨に見舞われながらも、お蔭さまで現地参加は1,369名、WEB視聴者を含めると7,200名と、多くの皆様にご参加いただきまして、無事終了することができました。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今年は新型コロナ変異株まん延による感染拡大という新局面を迎え、一ヵ月先の情勢をも見通せない中で、関係各位のご尽力により何とか計画通りハイブリッド方式での開催を実行することができました。本学術大会運営にあたっては、学会事務局と運営事務局の双方の御協力のもとで、作業を進めることができました。またプログラム編成にあたっては、学術委員や教育プログラム小委員および関連の皆様、多大な御支援を頂きました。ここに改めて感謝申し上げます。

今大会のテーマは「脳神経内科の使命-現在、過去、未来」とさせていただきます。「神経内科」が診療科として認可されたのが1975年、日本神経学会が診療科名を「脳神経内科」に変更する決定をしたのが2017年です。この40年あまりの間に脳神経内科は大きく発展しました。かつては患者数の少ない難病をもっぱら扱う診療科というイメージで見られがちでしたが、現在は脳卒中、認知症、てんかん、頭痛といったコモディティーズを扱うメジャーな診療科に成長しました。それだけでなく、神経難病にも革新的治療薬や治療技術が次々と生まれ、かつてないエキサイティングな時代を迎えています。それとともに脳神経内科がより社会に貢献できる存在になるために専門医制度における基本領域化を目指すことも学会の方針となりました。いっぽう世界の仲間と連携して、脳神経内科をさらに発展させることも私たちに求められています。このような意図が本大会を通じて参加者の皆様に伝わったとすれば望外の喜びです。

ここに第62回学術大会の全日程が無事終了しましたことを報告させていただきます。大会を大いに盛り上げていただきました皆様に重ねて心より御礼を申し上げます。この大会が神経疾患の研究と医療の一層の発展に繋がることを祈念し、お礼の挨拶とさせていただきます。

皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2021年5月吉日

第62回日本神経学会学術大会

大会長 高橋 良輔

京都大学大学院医学研究科臨床神経学(脳神経内科) 教授

副大会長 山田 正仁

九段坂病院 副院長

金沢大学大学院脳老化・神経病態学(脳神経内科学) 名誉教授

【大会長校事務局】京都大学大学院医学研究科臨床神経学  
(脳神経内科)

【学会事務局】日本神経学会事務局

【運営事務局】第62回日本神経学会学術大会運営事務局

日本旅行コンベンショングループ

大会長校事務局 京都大学大学院医学研究科臨床神経学(脳神経内科) 〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町54

学会事務局 一般社団法人日本神経学会 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階 TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931

運営事務局 株式会社日本旅行コンベンショングループ

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階 TEL: 086-259-5578 FAX: 086-250-7682 E-mail: neuro2021@wjcs.jp

<https://www.neurology-jp.org/neuro2021/>

